

PRIUS

“Safety Plus II”

特別仕様車 S “Safety Plus II”



安全性で選ぶなら、このプリウス。



特別仕様車「Safety Plus II」は「セーフティ・サポートカーS<ワイド>」です。

セーフティ・サポートカーS<ワイド>(サポカーS<ワイド>)は、政府が交通事故防止対策の一環として普及啓発しているものです。自動(被害軽減)ブレーキやペダル踏み間違い時加速抑制装置など安全運転を支援する装置を搭載し、高齢者を含むすべてのドライバーの安全をサポートします。

区分	対象機能	対象グレード
セーフティ・サポートカーS<ワイド> (サポカーS<ワイド>)	Toyota Safety Sense[レーンレーシングアシスト/ プリクラッシュセーフティ/レーダークルーズコントロール/ オートマチックハイビーム/ロードサインアシスト]かつ、インテリジェント クリアランスソナー[パーキングサポートブレーキ(静止物)]装着車	全車

■安全運転を支援する装置は、あくまで運転を支援する機能です。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。



JNCAP※1予防安全性能評価※2において、2016年度最高ランクの「ASV++」を獲得※3。
JNCAP衝突安全性能評価※4の2016年度最高ランク「ファイブスター賞」の受賞とあわせて、
高い予防および衝突安全性能を評価されました。

※1.自動車アセスメント(JNCAP: Japan New Car Assessment Program): 国土交通省と独立行政法人 自動車事故対策機構が、安全な自動車の普及を促進する目的で、1995年度より公表している自動車安全情報。 ※2. 予防安全性能評価: JNCAPに2014年度より導入され、以下の項目により車両の予防安全性能を、2016年度から「ASV+」、「ASV++」の2段階で評価。 ①衝突被害軽減制御装置[対車両](プリクラッシュセーフティ) ②車線逸脱警報装置(レーンディパーチャーアラート) ③後方視界情報提供装置(バックモニター等)(2015年度から追加) ④衝突被害軽減制御装置[対歩行者、昼間](プリクラッシュセーフティ)(2016年度から追加) ※3. Toyota Safety Sense搭載およびバックカメラ装着車。 ※4. 衝突安全性能評価: 衝突時の乗員保護性能と歩行者保護性能を合わせ、車両の総合的な安全性を点数に応じ1~5★の5段階で評価。

Special Equipment



駐車場からバックで出るとき、
クルマの接近をお知らせします。

リヤクロストラフィックアラート(RCTA※1)

自車後側方から接近してくる車両を検知し、注意を喚起

駐車場から後退する際に、左右後方から接近してくる車両をレーダーで検知。ドアミラー内のインジケータ減とブザーによりドライバーに注意を喚起します。

※1. RCTA: Rear Cross Traffic Alert ■天候状態、道路状況、および車両状態によっては、ご使用にならない場合があります。 ■リヤクロストラフィックアラートはあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバー自ら周囲の安全状況を直接確認する必要があります。 ■リヤクロストラフィックアラートのレーダーは真後ろの車両を検知できないため、必ずパノミックビューモニターまたはバックガイドモニターまたはバックカメラと合わせてご使用ください。



室内を爽やかな空気環境へ。 nanoE ナノイー

「ナノイー」※2

肌や髪にやさしい、水に包まれた弱酸性の「ナノイー」を、運転席右側のエアコン吹き出し口から放出し、室内を爽やかな空気環境に導きます。

「ナノイー」の技術]

お肌や髪にやさしい弱酸性	ウイルス★1・菌★2の抑制・脱臭★3	花粉★4・PM2.5★5・カビ★6
--------------	--------------------	-------------------

★1、★2、★3、★4車室空間での試験による約1時間の効果であり、実使用環境・実使用条件下の結果ではありません。*3*4*5*6

★5、★6車室空間での試験による約2時間の効果であり、実使用環境・実使用条件下の結果ではありません。*7*8

■効果には個人差や作動条件による差があります。

※2. 「nanoE(ナノイー)」= nano-technology + electric 最先端のテクノロジーから生まれた「水につつまれた電気を帯びたイオン」のこと。 ※3. 試験機関: (一財)日本食品分析センター/試験方法: 実車において附着したウイルス感染価を測定/抑制の方法: 「ナノイー」を放出/対象: 附着したウイルス/試験したウイルスの種類: 1種類/試験結果: 1時間で99%以上抑制。第20073697001-0101号。報告書日付: 2020年12月4日 ※4. 試験機関: (一財)日本食品分析センター/試験方法: 実車において附着した菌数を測定/抑制の方法: 「ナノイー」を放出/対象: 附着した菌/試験した菌の種類: 1種類/試験結果: 1時間で99%以上抑制。第15038623001-0101号。報告書日付: 2015年5月12日 ※5. 試験機関: パナソニック株式会社プロダクト解析センター/試験方法: 実車において布に附着させたタバコ臭を6段階臭気強度表示法による検証/脱臭の方法: 「ナノイー」を放出/対象: 附着したタバコ臭/試験結果: 1時間で臭気強度1.8以上低減。BAA33-150318-M35。 ※6. 試験機関: パナソニック株式会社プロダクト解析センター/試験方法: 実車において布に附着させた花粉(スギ)をELISA法により計測/抑制の方法: 「ナノイー」を放出/対象: 附着した花粉(スギ)/試験結果: 1時間で69%以上抑制。BAA33-150303-F03。 ※7. 試験機関: パナソニック株式会社プロダクト解析センター/試験方法: 実車において布に附着させた有機物量を測定/抑制の方法: 「ナノイー」を放出/対象: PM2.5に含まれるとされる有害物質(ヘキサアカン、安息香酸)/試験結果: 2時間で57%以上を分解。Y14MK301。 ※8. 試験機関: (一財)日本食品分析センター/試験方法: 実車において附着させたカビ菌の発育数を測定/抑制の方法: 「ナノイー」を放出/対象: 附着したカビ菌/試験したカビ菌の種類: 1種類/試験結果: 2時間作動でカビ菌の抑制効果確認。第15025055001-0101号。報告書日付: 2015年5月12日 ■「nanoE」、「ナノイー」および「nanoE」マークは、パナソニック株式会社の商標です。

すべての方の安全をサポートするために進化を続ける予防安全パッケージ“Toyota Safety Sense”に加え、バック、車線変更、悪天候といった、より慎重な運転が求められるシーンをサポートする特別装備をプラス。充実の安全装備が、さまざまなドライビングシーンで安心をもたらします。



車線を変えようとしたとき、
死角にいるクルマをお知らせします。

ブラインドスポットモニター (BSM^{*9}) **車線変更時の後方確認をアシスト**

隣の車線を走る車両をレーダーで検知。車両が死角エリアに入ると、ドアミラーに搭載されたLEDインジケータを点灯させます。その際、サイドターンランプを点滅させるとLEDインジケータも点滅し、ドライバーに注意を喚起します。

*9. BSM : Blind Spot Monitor ■検知対象の目安となる大きさは、小型の二輪車よりも大きな車両となります。一部の特殊な道路状況等では、静止物に対してもインジケータが点灯する場合があります。 ■天候状態、道路状況、および車両状態によっては、ご使用になれない場合があります。 ■ブラインドスポットモニターは、車線変更時の後方確認をアシストするシステムです。実際の車線変更時にはドライバー自ら周囲の安全状況を直接確認する必要があります。

際立つ先進デザインと優れた視認性。



LEDフロントフォグランプ & LEDアクセサリランプ [薄暮灯]

フロントフェイスの先進性を際立たせるとともに、悪天候時にヘッドランプの明かりを補助。優れた安全性を確保しています。



オートワイパー
(雨滴感応式)



自動防眩インナーミラー

交通事故死傷者ゼロの社会をめざして。

特別仕様車S“Safety Plus II”は、すべての方の安全をサポートするために、予防安全パッケージ“Toyota Safety Sense”を標準装備しています。
 その他、個々の安全技術やシステムをさらに連携させ、さまざまなシーンでドライバーを支援。
 将来的には道路インフラとの協調、自車以外のクルマからの情報活用を図り、「事故を起こさないクルマ」の実現をめざしていきます。

進化を続ける予防安全パッケージ

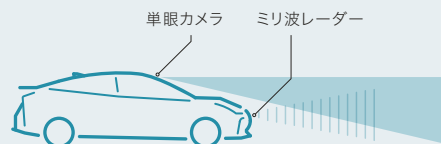
Toyota Safety Sense



POINT 1: 5つの先進機能が、多くの状況でドライバーをサポート。

- ・プリクラッシュセーフティ【ぶつからないをサポート】
- ・レーントレーシングアシスト【高速道路のクルージングをサポート】
- ・オートマチックハイビーム【夜間の見やすさをサポート】
- ・レーダークルーズコントロール【ついていくをサポート】
- ・ロードサインアシスト【標識の見逃し防止をサポート】

POINT 2: 2種類のセンサーで高い認識性能と信頼性を両立。



さらに幅広い
安全技術をご用意。

〈駐車場などでの低速走行時に壁や車両を検知〉

- ・インテリジェントクリアランスソナー
[パーキングサポートブレーキ(静止物)]

〈後方から接近してくる車両を検知〉

- ・ブラインドスポットモニター
- ・リヤクロストラフィックアラート

横断する歩行者や自転車を検知したとき、衝突回避や被害軽減をサポートします。



昼間、自転車が車道を横断したときも検知。



昼間はもちろん、夜間の歩行者も検知。

プリクラッシュセーフティ

(歩行者[昼夜]・自転車運転者[昼] 検知機能付衝突回避支援タイプ/ミリ波レーダー+単眼カメラ方式) **ぶつからないをサポート**

前方の車両や歩行者(昼夜)、自転車運転者(昼)をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。警報ブザーとディスプレイ表示で衝突の可能性を知らせ、ブレーキを踏めた場合はプリクラッシュブレーキアシスト。ブレーキを踏めなかった場合はプリクラッシュブレーキを作動させ、衝突回避または被害軽減をサポートします。プリクラッシュブレーキは歩行者や自転車運転者に対しては自車が約10~80km/hの速度域で作動し、たとえば、歩行者との速度差が約40km/hの場合には、衝突回避または被害軽減をサポート。また、車両に対しては自車が約10km/h以上で作動。たとえば、停止車両に対し自車の速度が約50km/hの場合には、衝突回避または被害軽減をサポートします。

- 道路状況、車両状態、天候状態およびドライバーの操作状態等によっては、作動しない場合があります。詳しくは取扱書をご覧ください。
- プリクラッシュセーフティはあくまで運転を支援する機能です。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。
- 数値は社内測定値。

⚠ Toyota Safety Senseを安全にお使いいただく上での留意事項説明

Toyota Safety Senseは予防安全パッケージです。ご契約に際し、Toyota Safety Senseおよびその各システムを安全にお使いいただくための留意事項についてご説明いたします。(ご使用になる際のお客様へのお願い) ■運転者には安全運転の義務があります。運転者は各システムを過信せず、常に自らの責任で周囲の状況を把握し、ご自身の操作で安全を確保してください。 ■各システムに頼ったり、安全を委ねる運転をすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか最悪の場合は死亡につながるおそれがあります。 ■ご使用前には、あらかじめ取扱書で各システムの特徴・操作方法を必ずご確認ください。 ■お客様ご自身でプリクラッシュセーフティの作動テストを行わないでください。対象や状況によってはシステムが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

高速道路で車線の中央を走行するためのステアリング操作をアシストします。



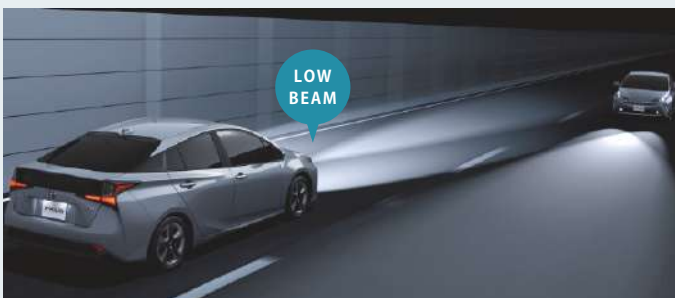
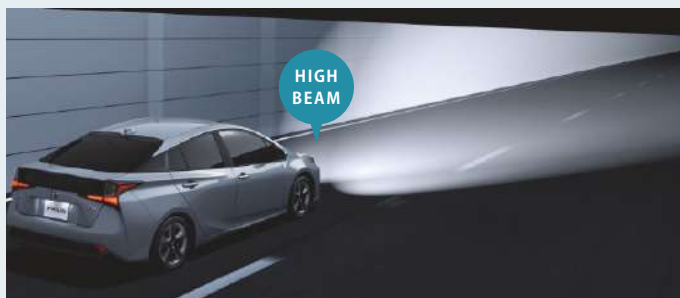
レーントレーシングアシスト(LTA*1) 高速道路のクルージングをサポート

道路上の白線(黄線)を単眼カメラで認識し、車線を逸脱する可能性がある場合、警報ブザーとディスプレイ表示での警告に加え、ステアリング操作の一部を支援します。さらに高速道路や自動車専用道路を走行中、レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)の作動時*2に、車線維持に必要なステアリング操作をサポートします。

*1. LTA: Lane Tracing Assist *2. レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)を使用していない場合でも、車線維持支援機能以外の車線逸脱警報機能、車線逸脱抑制機能は作動します。

[レーントレーシングアシストについて] ■高速道路や自動車専用道路でご使用ください。 ■レーントレーシングアシストは自動で運転する装置でも前方への注意を軽減する装置でもないため、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、ステアリング操作で進路を修正し、安全運転を心がけてください。 ■ステアリングから手を離さず、自身の責任でステアリング操作を行ってください。 ■車線逸脱警報機能(車線維持支援機能中は除く)、車線逸脱抑制機能は約50km/h以上で作動します。 ■たとえば次のような条件下では、車線維持支援機能、車線逸脱警報機能、車線逸脱抑制機能が正常に作動しない場合がありますため、使用しないでください。 ●車線と見間違えるような路側構造物がある時(ガードレール、反射ポールなど) ●分合流付近を走行中 ●急カーブを走行中 ●雨・雪・霧などで車線が見えにくい時など ■たとえば次のような条件下ではシステムの作動条件が満たされず車線維持支援機能、車線逸脱警報機能、車線逸脱抑制機能の作動をキャンセルする場合があります。 ●車線を見失った時 ●ドライバーの追加運転操作を検知した時(ステアリング、ブレーキ、アクセルの操作など)など ■車線逸脱警報機能、車線逸脱抑制機能は走路の境界がはっきり見えない場合、または直線的ではない場合には正常に作動しない場合があります。 ■故意に車線から逸脱して走行するなど、システムの作動を確認する行為はたいへん危険です。絶対におやめください。 ■車線維持支援機能が先行車を追従する支援を行う場合、先行車が車線を右、または左に片寄って走行、または車線変更した時は、先行車の位置に合わせて自車も片寄って走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。先行車がふらついた時は、自車もふらついて走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。

暗い夜道を走行しているとき、ハイビームとロービームの切替を自動で行ってくれます。

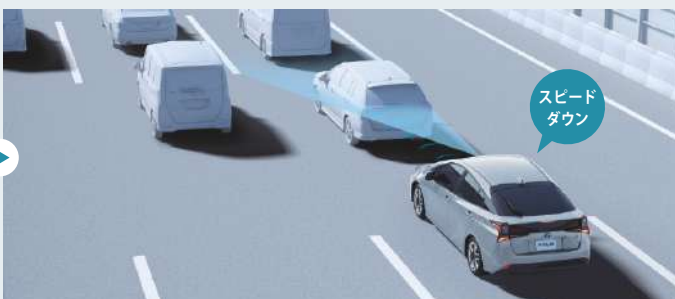
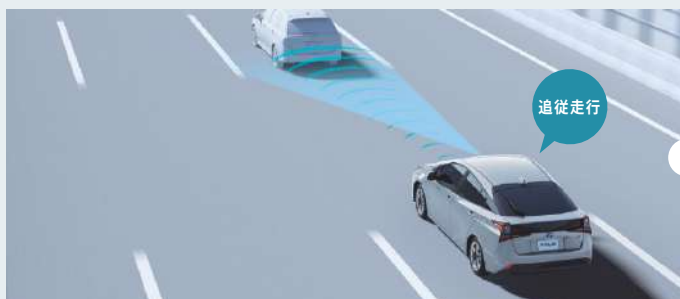


オートマチックハイビーム(AHB*3) 夜間の見やすさをサポート

ハイビームとロービームを自動で切り替え、夜間の歩行者などの早期発見をサポート。切り替え忘れを防ぐほか、手動操作の煩わしさも軽減します。

*3. AHB: Automatic High Beam ■自車速度約30km/h以上で作動します。 ■ハイビーム・ロービームの切り替え自動制御には状況により限界があります。運転時には常に周囲の状況に注意し、必要に応じて手動で切り替えるなど、安全運転を心がけてください。 ■道路状況・車両状態および天候状態等によっては、ご利用になれない場合があります。詳しくは取扱書をご覧ください。

渋滞になったとき、ドライバーの負担を大幅に軽減します。



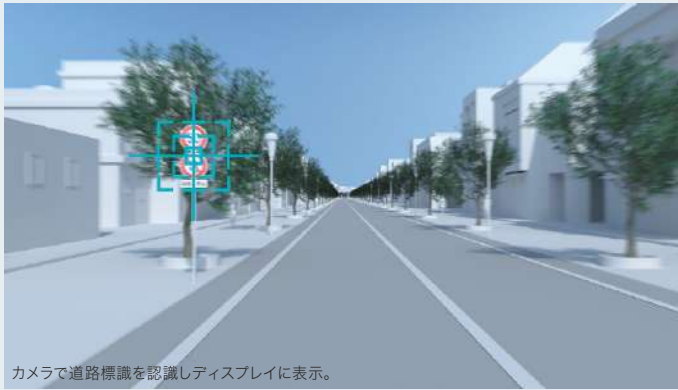
レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付) ついていくをサポート

ミリ波レーダーと単眼カメラで先行車を認識し、車速に応じた車間距離を保ちながら追従走行を支援します。先行車が停止した時は自車も停止して停止状態を保持、先行車が発進した時はドライバー操作により発進し、追従走行を再開します。高速道路の渋滞走行時など、停止・発進を繰り返すシーンで、ドライバーの運転負担を大幅に軽減します。

■ITS Connectのオプション選択により、通信利用型レーダークルーズコントロールが利用可能になります。

■車間距離制御には状況により限界があります。システムを過信せず、安全運転をお願いします。 ■設定速度は、制限速度、交通の流れ、路面環境、天候等を考慮して適切に設定してください。設定速度の確認は運転者が行う必要があります。 ■道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご利用になれない場合があります。 ■高速道路や自動車専用道路でご使用ください。詳しくは取扱書をご覧ください。

標識をうっかり見逃して思わぬ速度超過などをしないようサポートします。



カメラで道路標識を認識しディスプレイに表示。



ロードサインアシスト<RSA*1> 標識の見逃し防止をサポート

道路標識を単眼カメラで認識し、ディスプレイに表示するシステム。道路標識の見落としを減らし、安全運転を促します。速度規制値を超えた場合などには、ブザーとディスプレイ表示で知らせる機能も備えています。

*1. RSA : Road Sign Assist

Toyota Safety Sense の付帯機能

交差点での「うっかり出遅れ」を防ぎます。

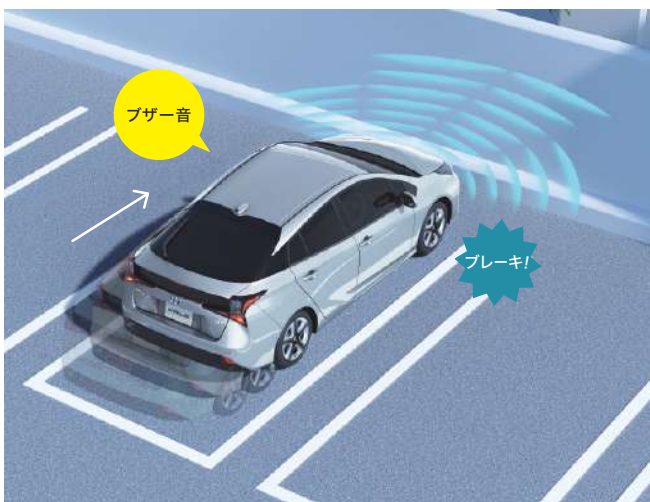


先行車発進告知機能<TMN*2> 前のクルマの発進をお知らせ

信号待ちや渋滞で先行車に続いて停止し、先行車の発進に気づかずそのままだった場合、ブザーとディスプレイ表示でお知らせします。

*2. TMN : Traffic Movement Notification ■シフトポジションが「P」「R」以外でブレーキペダルを踏んで停車している時に作動します。シフトポジションが「N」の時、またはレーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)機能で自車が停止した場合は、ブレーキペダルを踏んでいなくても作動します。 ■先行車が約4m以上進んでも自車が止まったままだとシステムが判断した場合に作動します。なお、機能のON/OFFおよび通知タイミングの変更が可能です。詳しくは取扱書をご覧ください。

駐車時にペダルを踏み間違えたとき、ブレーキ制御で衝突回避をサポートします。



インテリジェントクリアランスソナー

[パーキングサポートブレーキ(静止物)]

踏み間違えてもサポートする、先進の安全機能

超音波センサーで周辺監視しながら、アクセル・ブレーキペダル操作に関係なく、低速取り回し時における衝突回避、または衝突被害の軽減に寄与するシステムです。車庫入れなどの運転時、障害物の接近を表示とブザーで知らせる「クリアランスソナー」に、ブレーキ制御を行い障害物との接触を緩和する機能を追加しています。

■インテリジェントクリアランスソナーは自動(被害軽減)ブレーキまで働くシステムではありませんが、必ず止まることを約束するものではありません。道路状況、車両状態および天候状態等によっては作動しない場合があります。また、衝突の可能性がなくてもシステムが作動する場合もあります。詳しくは取扱書をご覧ください。 ■安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。 ■ソナーの検知範囲、作動速度には限界があります。必ず車両周辺の安全を確認しながら運転してください。 ■運転者自身でインテリジェントクリアランスソナーの自動(被害軽減)ブレーキ制御を試すことはおやめください。 ■インテリジェントクリアランスソナーの自動(被害軽減)ブレーキが作動した場合でもブレーキ制御は2秒で解除されるため、そのまま前進・後退できます。また、ブレーキペダルを踏んでもブレーキ制御は解除されるため、再度アクセルペダルを踏むことで前進・後退できます。

BODY COLOR



プラチナホワイトパールマイカ(089)*1



シルバーメタリック(1F7)



グレーメタリック(1G3)



アティチュードブラックマイカ(218)

INTERIOR COLOR

BLACK



内外配色一覧表

特別仕様車 S *Safety Plus II*		
■ 標準設定	シート表皮	ファブリック (エンボス付)
	内装色	ブラック
	シートステッチ	グレー
	サイドレジスター	ブラック
ボディカラー	プラチナホワイトパールマイカ (089) *1	
	シルバーメタリック (1F7)	
	グレーメタリック (1G3)	
	アティチュードブラックマイカ (218)	

*1. プラチナホワイトパールマイカ(089)はメーカーオプション<33,000円(消費税抜き30,000円)>となります。 ■「メーカーオプション」はご注文時に申し受けます。メーカーの工場に装着するため、ご注文後はお受けできませんのでご了承ください。 ■価格はメーカー希望小売価格<(消費税10%込み)21年6月現在のもの>で参考価格です。価格は販売店が独自に定めていますので、詳しくは各販売店におたずねください。 ■ボディカラーおよび内装色は撮影、印刷インキの関係で実際の色とは異なって見えることがあります。また、実車においてもご覧になる環境(屋内外、光の角度等)により、ボディカラーの見え方は異なります。

PRICE LIST

2WD	4WD (E-Four)
メーカー希望小売価格*1 2,814,000円 (消費税抜き 2,558,182円)	メーカー希望小売価格*1 3,012,000円 (消費税抜き 2,738,182円)
北海道地区メーカー希望小売価格*2 2,832,700円 (消費税抜き 2,575,182円)	北海道地区メーカー希望小売価格*2 3,030,700円 (消費税抜き 2,755,182円)

*1. 沖縄地区は価格が異なります。 *2. 北海道地区の価格には寒冷地仕様が含まれます。 ■価格はメーカー希望小売価格<(消費税10%込み)21年6月現在のもの>で参考価格です。価格、取付費は販売店が独自に定めていますので、詳しくは各販売店におたずねください。 ■価格はタイヤパンク応急修理キット、タイヤ交換用工具付の価格です。 ■価格にはオプション価格、取付費は含まれていません。 ■保険料、税金(除く消費税)、登録料などの諸費用は別途申し受けます。 ■自動車リサイクル法の施行により、リサイクル料金(10,120円<21年6月時点の金額>)が別途必要となります。詳しくは、取扱い販売店におたずねください。

障害物がないシーンでも、ペダル踏み間違い時に加速を抑制

**急アクセル時
加速抑制
作動時**

加速抑制あり時

加速を抑制

クリープ走行 ※ブレーキなし

**加速抑制
機能なしの
場合**

アクセルを踏み間違えて加速

トヨタ純正用品 (販売店装着オプション) ORIGINAL Accessory

■詳しくは別冊のACCESSORIES & CUSTOMIZE CATALOGUEをご覧ください。

プラスサポート用スマートキー



標準キーと区別しやすい、あたたかみのあるサテンゴールドの専用キーです。



ディスプレイ表示

※本製品にメカニカルキーは付属していません。標準スマートキーに付属のメカニカルキーを本製品に差し替えてご使用ください。

プラスサポート(急アクセル時加速抑制)

障害物の有無にかかわらず、アクセルの踏みすぎや踏み間違いを検知するとクルマの加速を抑制し、警報ブザーとディスプレイ表示でドライバーに注意を喚起する機能です。突然のアクシデントに慌てて、アクセルを速く強く踏んでしまった時に作動し、クルマの加速を抑制します。専用キーでドアを解錠した時に自動でプラスサポートが始動するので、面倒な設定も不要です。

■ブレーキを制御するシステムではありません。 ■自車車速約30km/h以下で作動します。 ■前進および後退時に作動します。 ■アクセルを速く強く踏み込むような運転をした時に、意図せずシステムが作動することがあります。 ■プラスサポートで運転中でも、右左折時や車線変更時、一時停止位置や信号待ちからの発進時、急な坂道での発進や加速時には、通常どおり加速できます。ただし、方向指示レバーを操作しないで右左折や車線変更をしたり、ブレーキを踏まない状態から発進するとシステムが作動することがあります。その場合でも、一度アクセルを離してゆっくり踏みなおすと加速が可能です。 ■プラスサポート用スマートキーと標準スマートキーを同時に携帯せず、目的にあった1種類のキーのみを携帯してください。両方のキーが近くにあると、プラスサポート用スマートキーを判定できず、プラスサポートにならない可能性があります。また始動時はメーター等でモードの表示を必ずご確認ください。

⚠注意: 植込み型心臓ペースメーカー等の機器をご使用の方は、電波によりこれらの機器に影響を及ぼすおそれがありますので、車両に搭載された発信機から約22cm以内に植込み型心臓ペースメーカー等の機器を近づけないようにしてください。電波発信を停止することもできますので詳しくは販売店におたずねください。

トヨタ プリウス 特別仕様車 S「Safety Plus II」 主要装備一覧表

Table with columns: 特別仕様車, ベース車両, 外装, 安全装備, 操作性, 内装, エンターテインメント. Includes items like LED front fog lamps, safety sense, navigation, and interior features.

[その他の標準装備] ●195/65R15タイヤ&15×6 1/2J アルミホイール(シルバー塗装ホイールキャップ付) ●エアバック(フロント・リヤ) ●リヤスポイラー(LEDハイマウントストップランプ付) ●Bi-Beam LEDヘッドランプ(オートレベリング機能付)...

*1. スペアタイヤを選択した場合、タイヤパンク応急修理キットは非装着となります。また、2WDはデッキアンダートレイがなくなるとなります。 *2. 寒冷地仕様またはパノラミックビューモニターまたはパノラミックビューモニター付ナビディセットを選択した場合、ドリアムはヒーター付となります。...

ベース車両 トヨタ プリウス 主要諸元表

Table with columns: 車両型式・重量・性能, エンジン, フロントモーター, リヤモーター, 走行装置. Includes specifications for 2Zr-FXE engine, transmission, and chassis.

*1. 特別仕様車「Safety Plus II」の車両型式の末尾には(D)が付きま。 *2. 車高アップ対応を装着した場合、全高と最低地上高が25mm高くなり、トレッドが10mm縮小となります。 *3. 社内測定値。

- 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。 ●WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。...

車両によっては自動車重量税などの軽減措置を受けることができます。詳しくはエコカー減税紹介ページ(https://toyota.jp/ecocar/about/1/)をご確認、または販売店におたずねください。

サポート3 技術と人で、安全安心をサポート。 https://toyota.jp/sapotoyo/

※「サポート3」とは「サポートトヨタ」の略称です。 ■「PRIUS」HYBRID SYNERGY DRIVE™ TOYOTA SAFETY SENSE™ 「ECB」VSC™ TRC™ EFI™ T-Connect™ はトヨタ自動車(株)の商標です。 ■道路運送車両法による自動車型式指定申請書数値 ■製造事業者：トヨタ自動車株式会社

詳しくは! https://toyota.jp

このカタログに関するお問い合わせは、お近くのプリウス取り扱い販売店または下記のお客相談センターへ トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター 全国共通フリーコール ☎0800-700-7700 オープン時間 365日 9:00~16:00 所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号